

東京大学三崎臨海実験所利用手引き

平成 16 年 8 月 1 日改訂

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所

住所：〒238-0225 三浦市三崎町小網代 1024

電話：046-881-4105、Fax：046-881-7944

E-mail:misaki@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp（事務室）

rinkai@mmbs.s.u-tokyo.ac.jp（採集室）

URL：http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/

1. 利用目的、資格、施設・設備

1) 目的

当臨海実験所は海洋生物及び関連分野の研究（セミナー・会議等を含む）及び実習、研修等の教育の目的に利用できます。

2) 資格

当臨海実験所は、国内外の大学・研究機関に所属する研究者、学部・大学院学生が利用出来ます。また、東京大学の職員の研修や、大学・研究機関以外でも所長が特別に認めた個人、団体も利用できます。

3) 施設・設備

外来利用者の方は《別表 1》の施設・設備・実験動物等が利用できます。また、《別表 2》に示すように利用料金が設定されている設備等があります。

2. 申込み

1) 実験所の利用を希望する方は、電話、E-mail、Fax 等で事務室に申し出て下さい。日程等を相談、調整いたします。新規利用の方については所長が決裁します。セミナー、会議の申し込みは利用予定日の 3 ヶ月前から受付いたします。

2) 日程等の調整がつきましたら次の書類を提出して下さい。

(1) 外来利用申込書《様式 1》

(2) 利用者名簿&食事予定表《様式 2》

(3) 船舶／野外研究教育／動物供給利用申込書《様式 3》および船舶乗船名簿《様式 4》(利用者のみ)

(4) 実習予定表《書式自由》(実習利用の方のみ)

(5) 新規利用申請書《様式 5》(新規利用の方のみ)

※ 申請書式は臨海実験所 web ページに載っております。

3) 実験動物・船舶等は天候の具合などで利用出来ない事も有りますので、来所前に採集室に確認して下さい。

4) 漁業組合等との調整が必要ですので、採集等の野外研究教育の予定は 2 週間前までにお知らせ願います。

3. 来所時の手続

1) 実験所に到着したら、最初に事務室で、研究者カードの記入、実験所利用料金の納入、

食事数、部屋割りの確認をすませ、建物、実験室及び宿泊棟の鍵を受取ってください。

- 2) 事務手続き時間は、**平日の 10:00～12:00、13:00～16:00** です。土、日、祝日に利用を希望する方は、申込時に事務室と手続きについて相談して下さい。利用料金の支払いは、以下の郵便振替でも可能です。

口座番号：00270-8-23103 名称：東京大学臨海実験所

- 3) なるべく早い時期に実験所教員、採集室と研究又は実習の打ち合わせ（教員とは実習室・研究室の割当、採集室技術職員とは、採集・潜水作業等の実施等）をして下さい。
- 4) 臨海丸、和船を利用する方は、採集室に届出、ヘルメット、ライフジャケットを受取り、着用して乗船して下さい。
- 5) 予め研究用機材等を送る場合は、事務室にその旨連絡し、機材等が平日業務時間内に到着する様にして下さい。

4. 退所時の手続

退所の際、使用した研究室・実習室・部屋・設備・備品等の清掃・整理・整頓をすませ、事務室に立ち寄り、使用前の状態に復帰させた事の報告、鍵の返却をして下さい。

5. 研究室・実習室の利用

- 1) 実験所内の研究設備は所内教員、大学院生が使用していますので、外来の方は原則として利用できません。利用を許可されている設備も、使用の際は必ず担当職員の指示に従い、実験所及び他の利用者の研究教育活動に支障を与えないように願います。
- 2) **研究用機材等の持込みを希望される場合は、必ず事前に事務室にご相談下さい。**
- 3) コピー、コンピューター、図書室の書籍・雑誌等の利用については事務室にお問い合わせ下さい。

6. ゼミナール室の利用

- 1) 研究棟ゼミナール室（40 名）及びゼミナール室＋会議室（60 名）が利用できます。
- 2) プロジェクター等の使用を希望する方は事務室に申し込んで下さい。
- 3) 喫茶用具を利用できます。希望者は事務室に申し込んで下さい。

7. 宿泊棟の利用

- 1) **利用時間：チェックインは 16:00、チェックアウトは 10:00 です。**

利用最終日の午前 10:00 までにご利用の部屋から退出して下さい。荷物類は出立まで宿舎棟管理者（植田）に相談し安全な場所に保管しておくことができます。

- 2) **食 事**：食事は月～金曜日の昼食、夕食です。

昼食 12:00～12:30 夕食 18:00～18:30 です。食事時間を守って下さい。

昼食 12:30、夕食 18:30 までに食器を厨房に返却して下さい。

- ・実験所の都合で食事を利用できない場合もありますので、ご了承下さい。
- ・食事の追加注文及び取り消しは、**前日の午前中までに**事務室に連絡して下さい。（**連絡がない場合は、料金の払い戻しをしませんので、御了承下さい。**）
- ・朝食はございませんが、実習等で朝食が必要な団体は、仕出し弁当屋等を御紹介いたします。事務室までご相談下さい。

- 3) **寝具類**：ベッドメイキングは各自で願います。シーツ・枕カバー・布団などの寝具類は

宿泊棟 2 階の棚に置いて有ります。寝間着・タオル等は用意してありませんので各自
ご用意下さい。使用後は、シーツ等を 2 階廊下に置いてあるクリーニング袋に入れ、
寝具及び部屋の整頓を御願い致します。

4) 入 浴：入浴時間は 6 時から 24 時迄です。

- ・実習学生の入浴はシャワーを使用して下さい。教員・研究者はバスタブも使えます。
- ・シャンプー・タオル等は個人で用意して下さい。石鹸は備え付けております。
- ・チェックアウト直後から浴室の清掃を行うため、**チェックアウト後のシャワー室の利用
はご遠慮下さい。**研究教育活動でチェックアウト後にシャワーが必要な場合は事務室、
採集室に相談して下さい。

- 5) **節電のため、不在の消灯及び冷暖房の停止に御協力願います。**特に実習室、食堂、宿泊
棟 2 階ホール等の共用スペースの非使用時の冷暖房機器及び照明の停止にご協力下さい。
- 6) **宿泊棟厨房は立入禁止です。**調理用具、食器類の使用はできません。
- 7) 宿泊棟での飲食、談笑は他の宿泊者及び宿泊棟管理者の迷惑になり、睡眠を妨げます。
これらの行為は夜 11 時までとし、その後は静かにお過ごし下さい。

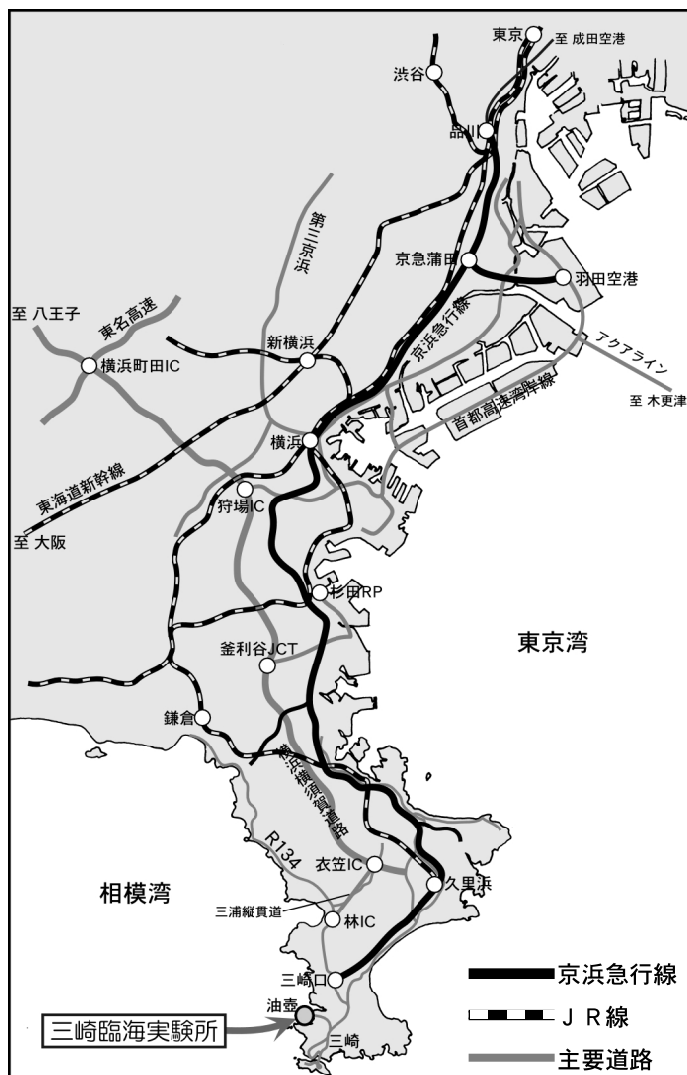
8. 生活、親睦、娯楽

- 1) 臨海実験所は目的で述べました様に研究・教育のための施設です。適正な御利用をお願い
致します。遊興、娯楽等を主にした利用は謹んで下さい。
- 2) 実験所構内での花火・たき火など火気・危険を伴う行為は禁止します。また、三浦市の
条例で午後 10 時以降の花火は市内全域で禁止されております。
- 3) 実験所には以下の生活、娯楽、親睦のための用具等があります。
(1) 宿泊棟：自転車、洗濯機、コイン乾燥機（有料）、TV、新聞、時刻表
(2) 事務室：T シャツ販売、喫茶用品の貸出（電気ポット、コーヒーマーカー、日本茶セ
ット。但し消耗品は自己調達）、臨海実験所年報、臨海実験所利用手引き
- 4) 休憩室は記念館、実験研究棟に各 1 部屋あり、軽食用の調理設備が備えてあります。食
料等は備えてありませんので、各自ご用意下さい。
- 5) 臨海実験所では生活環境改善のためのご意見を求めています。寄宿舍食堂にアンケート
用紙がありますので、臨海実験所での生活、親睦、娯楽に関するご意見をお書き下さい。

9. 利用上の一般的注意事項

- 1) 全ての建物（研究棟・記念館・水族館）は、指定された場所以外は**禁煙・禁酒**です。
- 2) 自動車は駐車場に停め、事務室で駐車許可書を受取り車内の見える所に置いて下さい。
- 3) 自動車の記念館（実習が行われる建物）への乗り入れについては市道の自動車の通行が
三崎警察署によって禁止されております。機材の積みおろし等で記念館に行く必要があ
る場合は、事務室に相談して下さい。許可なしでは絶対に乗り入れないで下さい。
- 4) 火災・盗難に気を付け、事故防止に努めて下さい。
- 5) 建物・設備・備品は丁寧に取り扱いして下さい。
- 6) 掲示・その他実験所員の指示に従って下さい。
- 7) 臨海実験所を利用する**教員・研究者**は臨海実験所 LAN に接続し、インターネットにアク
セスすることができます。利用希望の方は臨海実験所 LAN 使用願《様式 6》を担当職員
に提出し、許可を受けて下さい。
- 8) 公用に限り、事務所の電話・fax を使用出来ます。事務室までご相談下さい。

10. 三崎臨海実験所へのアクセス



◎鉄道をご利用の場合

・羽田空港から

（京浜急行空港線・約10分）→京急蒲田〔乗換〕（京急線快特・約60分）→三崎口〔駅改札口出て左〕（京急バス油壺行・約15分）→油壺→徒歩2～3分で実験所正門（油壺マリンパークの手前、左側）

・新宿・東京・東海道新幹線・品川から

（J R東海道新幹線・山手線）→品川〔乗換〕（京急線快特・約70分）→三崎口（以下同上）

・東海道新幹線・新横浜から

（J R横浜線桜木町行・約20分）→横浜〔乗換〕（京急線快特・約50分）→三崎口（以下同上）

◎車をご利用の場合

・八王子・東名高速方面から

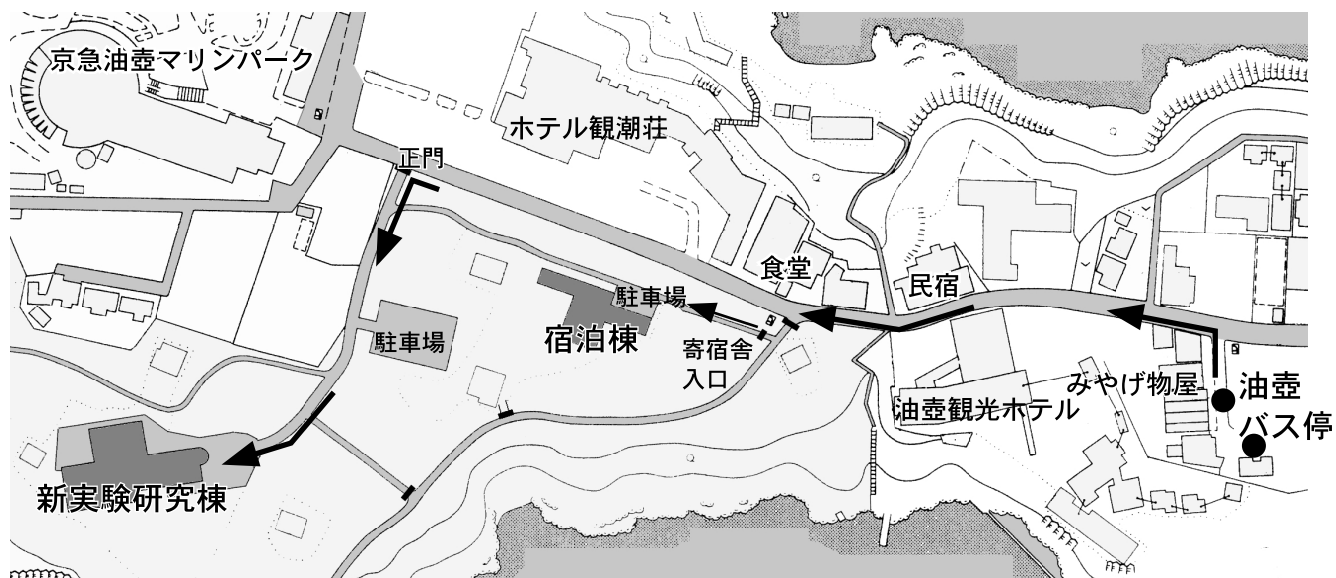
東名横浜町田IC→（保土ヶ谷バイパス）→狩場IC→（横浜横須賀道路）→衣笠IC→（三浦縦貫道路）→林IC〔左折〕→（国道134号線）→引橋→（県道）→油壺入口〔右折〕→油壺

・東京・首都高速方面から

（首都高速湾岸線）→釜利谷JCT→（横浜横須賀道路）→衣笠IC→（三浦縦貫道路）→林IC〔左折〕→（国道134号線）→引橋→（県道）→油壺入口〔右折〕→油壺

※行楽シーズンは道路の渋滞が予想されます。

実験所周辺地図



利 用 で き る 施 設 ・ 設 備

用 途	施 設	設 備
実習・実験	記念館（旧本館）	実習室 大（30名）、小（10名） 学生実習用顕微鏡（19台）、実体顕微鏡（10台）、電気スタンド
	実験研究棟	実験机（所内教員との共同研究の場合） 飼育水槽室 水槽（大、中、小）
セミナー・会議	実験研究棟	ゼミナール室 50名 1室
野外採集・ 調査研究	臨海丸	Aフレーム、ウィンチ（1500mウィンチ 6mmワイヤー）
	和船	船外機
通 信 （私用を除く）	実験研究棟事務室	電話、Fax
	実験研究棟図書室	コンピューター、インターネット接続（Ethernet）
	全施設	インターネット接続（無線LAN(IEEE802.11b)）
休 憩	記念館休憩室	軽食調理設備・喫茶用具

宿 泊 食 事	宿泊棟1階	シャワー、洗濯機、コイン乾燥機（有料）
	宿泊棟1階食堂	昼食、夕食（月一金）
駐 車	宿泊棟駐車場	
	屋外駐車場	

娯楽等	宿泊棟	TV(BS付)、朝日新聞、神奈川新聞、科学新聞、将棋、囲碁、卓球台
	事務室	野球用具、バドミントン用具、自転車、Tシャツ販売
その他	事務室	臨海実験所年報、利用手引き、電気ポット、コーヒーメーカー、プロジェクター（デジタル・スライド・OHP）、ビデオデッキ

＊ 利用できる主な実験動物

イソギンチャク・コケムシ・アメフラシ・ムラサキイガイ・キヒトデ・イトマキヒトデ・アカウニ・バフンウニ・タコノマクラ・スカシカシパン・ユウレイボヤ・シロボヤ・ベニボヤ・ヌタウナギ・シビレエイ・ドチザメ

※ その他についてはお問い合わせ下さい。

利用料金表（平成16年度）

1. 宿泊棟利用料

維持管理経費（全員が支払います。）	1泊	¥1,200
大学納入金（東大以外の方が支払います。）	1泊	¥130
クリーニング代 （シーツ、枕カバー、毛布カバー）	6泊まで	¥500

2. 食事（原則として平日の昼食、夕食です。）

昼食	¥400	夕食	¥500
----	------	----	------

3. 実習室、研究室、ゼミナール室利用料

（維持管理経費は利用者全員が支払います。大学納入金は東大以外の方が支払います。）

研究棟実験席	維持管理費	1人1日	¥40
ゼミナール室（新研究棟、 記念館、水族標本室）	維持管理費 清掃費	1団体1日 1団体1利用	¥510 ¥2,490
記念館実験席	維持管理費 大学納入金	1人1日 〃	¥20 ¥90
記念館大実習室	維持管理費 大学納入金	1団体1日 〃	¥350 ¥1,680
記念館研究室占有利用	維持管理費 大学納入金	1日 1日	¥60 ¥280

4. 実習室・ゼミナール室・食堂空調使用料（実習、セミナー利用のみ）

冷房費（7月1日～9月30日）	1団体1日	¥190
暖房費（11月15日～3月15日）		

5. 日帰り利用料

研究棟実験席	維持管理費	1人1日	¥160
記念館実験席	維持管理費 大学納入金	〃 〃	¥140 ¥90

6. 設備等利用

臨海丸	維持管理費	半日（3hまで）	¥8,800
大型水槽	維持管理費	1日	¥340
中型水槽	維持管理費	〃	¥120
小型水槽	維持管理費	〃	¥90

所長	事務室

外 来 利 用 申 込 書

申込年月日:平成 年 月 日

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所長 殿

貴実験所の利用を申し込みます。

利用責任者氏名（指導教員等）：

所属・職名：

所属機関住所: 〒

（又は自宅住所）

利用代表者氏名・所属・職名：

所属機関住所: 〒

（又は自宅住所）

*電 話：

*ファックス：

*E-mail：

利用目的： 研究調査 ・ 実習 ・ セミナー ・ 研修 ・ 見学 ・ その他

利用課題：

最大利用期間： 平成 年 月 日 曜 ～ 月 日 曜 （ 泊 日）

利用日到着 月 日 AM/PM 時頃

利用人数： 男 名、女 名 合計 名

食事の利用希望： 有 ・ 無 （有の場合は《様式2》を記入）

実習室等利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後 （大実習室・小実習室・実習実験室）

臨海丸利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後

和船利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後

ゼミ室等利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後（研究棟ゼミ室・水族館講義室・宿泊棟ロビー）

設備利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後

実験机利用希望： 有 ・ 無 日 午前・午後

※ 連絡先（電話、Fax、E-mail アドレス）は必ず記入して下さい。

利用者名簿&食事予定表

氏 名／所属機関	職 名 (学年)	性 別	宿泊日	宿泊 日数	___月食事予定表 (人数)			
					日	曜日	昼食	夕食
					1			
					2			
					3			
					4			
					5			
					6			
					7			
					8			
					9			
					10			
					11			
					12			
					13			
					14			
					15			
					16			
					17			
					18			
					19			
					20			
					21			
					22			
					23			
					24			
					25			
					26			
					27			
					28			
					29			
					30			
					31			

所 長	技官室	事務室

船舶／野外研究教育／動物供給利用申込書

平成 年 月 日

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所長 殿

利用者氏名／所属機関／職名（学年）：

利用責任者（指導教員等）氏名／所属機関／職名：

船 舶：利用者は乗船名簿（様式4）を記入・提出してください。

利用船舶：

利用目的：

利用日時：平成 年 月 日 時 分から 時 分まで 時間

野外研究教育：貴部局の実習予定表を1部添えてください。

利用目的：

利用日時： 月 日 時

参加人数： 名

尚、漁協への連絡上、野外実習は予定を7～10日前にご連絡下さい。

実験用動物供給希望：動物の採集状況について事前に技術職員に確認をして下さい。

動物名・数量：

供給希望日：

船舶乗船名簿

乗船人数 人

[illegible]

新規利用申請書

平成 年 月 日

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所長 殿

貴実験所の新規利用を申し込みます。

利用が採択されましたら、貴実験所の諸規則を遵守し利用いたします。

利用責任者 氏名・職名(学年)：

印

所属機関名・住所：

(又は自宅住所)

電 話：

ファックス：

E-mail：

利用目的： 研究調査 ・ 実習 ・ 研修 ・ 生物採集 ・ セミナー ・ 見学 ・ その他 { }

利用課題：

最大利用期間：平成 年 月 日 曜 ～ 平成 年 月 日 曜

利用人数：男 名, 女 名、合計 名

実験動物希望動物名(数)：

臨海丸利用希望： 有・無

和船利用希望： 有・無

設備利用希望： 有・無

セミナー室・実験机利用希望： 有・無

食事希望： 有・無

利用実施計画

--

略 歴 書

氏 名：

所属機関：

職 名：

住 所：

学 歴：

年	大学	学部	卒業・修了・中退
年	大学大学院	研究科	卒業・修了・中退

職 歴：

年～	年
年～	年
年～	年
年～	年
年～	年
年～	年

採否	採択 ・ 非採択	所長サイン
----	----------	-------

臨海実験所LAN利用願

東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所長 殿

貴実験所LANの利用を申請いたします。

利用が採択されましたら、貴実験所の諸規則を遵守し利用いたします。

氏 名：

所属機関・職名：

住 所：

電 話： e-mail：

利用期間： 平成 年 月 日 ～ 年 月 日

利用するLANの種類： Ethernet ・ 無線LAN

利用コンピューター：

使 用	許可 ・ 不可	所長/教官サイン：
IP アドレス		

臨海実験所LAN利用終了届

貴実験所LANの利用を終了し、LANの設定も抹消いたしましたことを報告いたします。

氏 名：

所属機関・職名：

所長/教員サイン